

事務事業マネジメントシート（21年度実績と22年度計画）

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		菊池広域連合運営事業（火葬場費・し尿処理費）				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	市民部	課長名	上山 幸顕
	施策	24	行財政改革の推進			所属課	環境衛生課	担当者名	白濱 ひろ子
	基本事業	83	計画的な施策・事業の推進			所属班	環境衛生班	(内線)	1144
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	地方自治法第291条の2 菊池広域連合規約	成果優先度評価結果 7 コスト削減優先度評価結果 6
終了、開始年度		☐ 21年度で終了 ☐ 22年度から開始		事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返（開始年度 H10 年度） 期間限定複数年度（ ～ 年度）			

★事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	平成10年度から、菊池管内の市町村に共通する課題を広域的に共同処理するために開始された。20年度より負担金を各課（原課）で支払うようになったことに伴い、火葬場費、し尿処理費の負担金を支出している。
【業務の流れ】	負担金の支払事務
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金（負担金）
【意見や要望】 関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	なし

1 現状把握の部（DO、PLAN）

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段（主な活動）	21年度実績（21年度に行った主な活動）（DO） 負担金の支払を行った（分割・年4回）
	22年度計画（次年度に計画している主な活動）（PLAN） 21年度に同じ
④活動指標（事務事業の活動量を表す指標）＝①の指標	(単位) (単位)
⇒ ア 負担金支払回数	回 イ
② 対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）＝②の指標 (単位)
菊池広域連合	⇒ ア 菊池広域連合数 箇所 イ
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）	⑥成果指標（意図の達成度を表す指標）＝③の指標 (単位)
火葬場及びし尿処理場の適正な運営ができる	⇒ ア 火葬場及びし尿処理場が適正に運営された割合 % イ
＊⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 菊池広域連合運営のための火葬場費・し尿処理費の負担金支払いの事業であり、火葬場及びし尿処理場の適切な運営ができることが重要なため、成果指標を「火葬場及びし尿処理場が適正に運営された割合」とし、目標設定値は適正に運営されなければならないので「100%」とした。	

(2) 各指標・総事業費 の推移		単位	19年度	20年度	21年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	
④ 活動指標	ア	回		4	4	4	4	4	4	
	イ									
⑤ 対象指標	ア	箇所		1	1	1	1	1	1	
	イ									
⑥ 成果指標	ア	%		100	100	100	100	100	100	
	イ									
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円		64,187	63,595	64,081	55,744	60,000	60,000
	(A) 事業費計	千円	0	64,187	63,595	64,081	55,744	60,000	60,000	
		(A)のうち指定経費	千円							
		(A)のうち時間外、特勤	千円							
	人件 費	正規職員従事人数	人		3	2	2	2	2	2
延べ業務時間		時間		12	12	17	12	12	12	
(B)人件費計		千円	0	48	48	68	48	48	48	
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	64,235	63,643	64,149	55,792	60,048	60,048	

総トータルコスト	
全体計画	
～	年度

総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
(期間限定複数年度のみ記載)
0
0
0

合志市

事務事業名	菊池広域連合運営事業(火葬場費・し尿処理費)	所属部	市民部	所属課	環境衛生課
-------	------------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE)
*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	☒ 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 菊池広域連合の運営については、本市のみで事業を行うことは困難であるが、構成自治体として火葬場及びし尿処理場が適正に運営されるよう要望していく。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 火葬場及びし尿処理場の整備を図ることで、成果の向上が期待できる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 各課で負担金支払事務を行っており、関係課との統合は可能である。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 菊池広域連合で計画的に策定された負担金の額であり削減できない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 負担金の支払事務だけを行っており、関係課と事務事業を統合することで削減の余地あり。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 市民全員に関係することであり、各市町の負担による運営は公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 菊池広域連合で計画的に策定された負担金の額を各市町が支払う事務であり適正である。

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

21年度は、火葬場費、し尿処理費の負担金を支出した。
本事業は、法定負担金の支出のみであり関係課との統合を検討する。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

☐ 廃止

☐ 休止

☐ 目的再設定

☒ 事業統廃合・連携

☒ 事業のやり方改善(有効性改善)

☐ 事業のやり方改善(効率性改善)

☐ 事業のやり方改善(公平性改善)

☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

本事業は、法定負担金の支出のみであり関係課との統合を検討する。
菊池広域連合の運営については、本市のみで事務改善を行うことは困難であるが、構成自治体として適切な施策の管理を要望していく。

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

関係課と事務事業を統合することで、人件費の削減等成果は期待できるが、負担金については、各課で予算計上しているので、予算についても統一するなど検討する。